

JSA 神奈川支部通信

No. 8 August 2023 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：☎230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP：<https://jsa-kanagawa.jp>、携帯電話 080-1987-0994、E-mail：iioka408(at)gmail.com

年会費 10800 円、院生・読者 5400 円 ゆうちょ銀行振替口座 0280-1-12774 日本科学者会議神奈川支部

この号の目次

- ◆ 原水爆禁止 2023 年世界大会・科学者集会（オンライン開催）のお知らせ 実行委員会
- ◆ 第 59 回 JSA 神奈川支部大会の報告 JSA 神奈川支部事務局長 飯岡ひろし
- ◆ 九条科学者の会 6 月講演会の報告 後藤仁敏
- ◆ 6 月 9 条学校「平和と地球を守る憲法 9 条」の報告 後藤仁敏
- ◆ ブラックホールを介して一般相対論と量子論と熱力学の深い関係を考える 北山宏之
- ◆ 安保法制違憲かながわ訴訟・東京高裁での第 2 回控訴審の報告 後藤仁敏

原水爆禁止 2023 年世界大会・科学者集会（オンライン開催）のお知らせ

科学者集会実行委員会

今の情勢は、国際的には、ウクライナへのロシアの侵略戦争の中で、核使用の危険が現にあり、国内的にはウクライナの戦争を口実にしての大軍拡、その中の敵基地攻撃能力は核使用・核戦争へ繋がりうる危険を内包しています。

ここで、核兵器禁止条約は希望の光、そして科学者もいまこの情勢に平和の発信が求められます。科学者ということ、大学が大きく関わるという意味で、捉えてみると、今の平和を脅かす動きに対置する言葉は 非核平和：かつて大学で非核平和宣言運動がありました。いま、再び、大学から、非核平和の声を上げるべき時です。

大学に関わる課題の中で、平和教育にも焦点を合わせ、学生にも参加してもらう、さらに高校生にも参加してもらい、全体の運動を若い力で活性化させたいという狙いも併せ持ちたいと思います。これは今の情勢にマッチしており、ぜひ、学生の方も誘っての、元気の出る集会にしたいと、zoom の許容人数も大規模のものを準備してお待ちします。この若い世代の立ち上がりを促すというのは、極めて現代的、挑戦的な課題です。一緒に考えてみませんか。

原水爆禁止2023年世界大会 科学者集会 リモート会議（zoom）方式での開催 核を含む大軍拡の嵐の中、大学・学生・高校生から平和の発信を

日時：2023年7月29日（土）13：00～16：30

プログラム：開会の挨拶と進行の説明

講演 1 直野章子（京都大学）：被爆体験と核兵器廃絶の間

講演 2（基調報告） 赤井純治（元新潟大学）：核を含む大軍拡の嵐の中、大学・学生から平和の発信を：新潟大非核平和宣言から平和教育の実践/現代学生への向き合い方について問題提起

講演 3（コメント） 師井勇一（明治大）：平和創造学の可能性—人権と平和を探究す

る明治大学より、沖村民雄（元高校教員・高校生平和ゼミナール全国連絡センター）：高校生平和ゼミナールと主権者教育の課題、田原ちひろ（武蔵野大・学生）学生平和ゼミナール：学生平和ゼミナールの活動を通して思うこと、高木安奈さん（慶応大・学生）：学生平和ゼミナール 平和についての対話で見える学生のリアルと、その閉塞感の突破口(?)、大野朱璃（新潟大・学生）：新潟大学の講義「平和を考える」をきっかけに私が抱いた平和への思い、高校生（沖縄高校生平和ゼミナール）：核兵器禁止条約の署名・批准を求める高校生署名に取り組んで
総合討論、集会アピール採択

科学者集会への参加は、下記URLにアクセスし、申込み下さい。

<https://forms.gle/XJt5Jh4tCdaZNWG59> 後ほどzoomのURL等お知らせします。

総合討論で各大学での、非核平和宣言の継承、平和教育の実践等、発言希望の方はあらかじめ、赤井宛、申込みをお願いします。下記メールアドレスへ

ja8631lakai@gmail.com。発言のタイトル、氏名・所属、概要を数行で。メールのタイトルには23科学者集会、発言希望と書いてください。

実行委員：赤井純治、井原聡、小林昭三、浜田盛久、森田龍義、山本富士夫

第 59 回 JSA 神奈川支部大会の報告

JSA 神奈川支部事務局長 飯岡ひろし

特別講演－中南米に相次ぐ左派政権の誕生に学ぶ

神奈川支部では5月20日の土曜日の午後、労働プラザにて支部大会を開催しました。支部大会では特別講演として、山崎圭一氏（横浜国立大学）に「中南米における第二次ピンク・タイドと自主的外交の展開」と題して、お話しをしていただきました。

ピンク・タイドとは「赤い潮」のことで、中南米の国々では2000年代にアメリカの干渉を克服して、左派政権が生まれた時期を第一次としています。今年は、選挙によって成立した社会主義政権であるチリの「人民連合」政権が、アメリカのニクソン政権と結託した軍事クーデタで打倒されてから半世紀になります。チリでは、長く軍事独裁政権が続き、民主勢力は弾圧されましたが、22年に中道左派のボリッチ政権が発足し、ピンク・タイドの一翼を担っています。山崎氏によれば、現在、左派政権は中南米33か国のなかでメキシコ、ブラジルなど10か国となっています。中南米は、かつてアメリカの裏庭といわれ、政治的にも、経済的にもその強い影響におかれましたが、2022年11月のブラジル大統領選挙では労働組合指導者出身のルラ大統領が当選し、第二次ピンク・タイドが高潮を向かえています。ブラジルでは2016年には左派の女性大統領、ルセフ氏が罷免されるという事件が起こります。ベネズエラでは、暫定大統領と選挙で当選した大統領が存在する異常事態が報道されましたが、暫定大統領はいわばアメリカ公認で、20年にその根拠となっていた国会議長の座を失います。

山崎氏は「米国政府の内政干渉が明確なケースもあれば、現在進行形の事件で疑いに留まるケースもあるあるが、米国とラテンアメリカ諸国の間の不均衡で非対称的な関係の歴史に鑑みると、2016年政変の米国政府の関与については、完全な肯定もできないが、現時点で否定することは時期尚早であろう」とのべていました。このよう

に、いまだにアメリカの干渉はつづいていて、バイデン政権でもキューバとベネズエラの経済封鎖は強化されているとされます。ピンク・タイドは必ずしも「必ずしも左派政権（色にたとえれば赤ではない）でもないのでピンク」とされます。アメリカをおもにした北米自由貿易協定（NAFTA）に中南米を加入させる目論見は頓挫したまま、ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体が 2011 年に発足しました。1951 年に設立された米州機構（OAS）にはアメリカ、カナダのほか中南米の 34 か国が加盟していますが、アメリカの内政干渉に抗議したベネズエラ野党を大統領と認めることに 20 か国が賛成しました。

中南米は鉱物資源などの豊かな国であるとともに、アメリカの多国籍企業の市場ともなっていて、アメリカ＝帝国主義、大企業の国有化など、かつての傀儡政権の打倒はちがった様相を呈しているように見えます。山崎氏はニカラグアの長期政権などの民主主義とは相容れない傾向と自らの現地を訪れて交流した経験にもふれながら、第二次ピンク・タイドは日本でもいろいろな評価があると話されました。日本との比較でいえば、軍事費の倍増など対米従属の外交がきわまるなかで、ブラジルの伝統的な「全方位外交」です。1990 年代から「核不拡散、軍縮、人権擁護、環境保全など多様な国際機関や条約や、国際イベントにコミットするようになった」とされ、イラクへのイギリス有志連合に与しないなど、外務省の伝統でもあるとのことでした。中南米のピンク・タイドに、一貫しているのは自主外交の追求であるといえるでしょう。つづいて、ドキュメンタリー映画の巨匠といわれるパトリシオ・グスマン監督（チリ）の『真珠のボタン』を鑑賞し、チリの現代にいたる歴史を文明というなのもとでスペインにつれさられたチリ人と、ピノチェト独裁政権で虐殺された人民連合や民主主義者へのエピソードにふれながら、宇宙、海、水などの壮大なドキュメンタリーには、学ぶことが多かったと思います。

大会議案－会費問題は継続して審議

大会は特別講演と映画のあと、短時間開催されました。大会は参加者と委任状で 3 分の 1 の成立要件を満たし、以下の報告、議案は承認、可決されました。支部会費の月 200 円から 400 円の値上げの是非は、来年度の第 60 回支部大会で決定することになります。なお、この支部大会はかながわ総研の移転によって、総会などの会場を別途手配せざるを得なくなったため、予想外の費用がかかってしまいました。支部幹事会としては引き続き、経費の削減につとめます。

A. 活動報告

1. 社会的活動（他団体との交流、個人参加ほか）

1) 2022 年 4 月 9 日と 5 月 3 日（憲法記念日）に「九条かながわの会」が桜木町駅と横浜駅西口で「“いざ神奈川” いっせい行動」の宣伝活動に参加（JSA 神奈川支部通信, 2022 年 6 月号）／2) 「憲法を考える県民集会」（5 月 1 日、かながわ労働プラザ、講演：志田陽子（武蔵野美術大学教授）「憲法改正の理路と逸脱－改憲の軌道をたどす」）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2022 年 6 月号）／3) 参院選全県市民の決起集会（5 月 29 日、関内ホール）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2022 年 7 月号）／4) 参院選を勝利する市民集会（6 月 4 日、鎌倉生涯センター）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2022 年 7 月号）／5) シンポジウム「学術会議任命拒否問題とは何か」

(7月6日、全国町村会館)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2022年9月号)／6) 原水爆禁止 2022年世界大会・科学者集会「安全保障と差別」(7月24日・31日、オンライン)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2022年9月号)／7) 第2回山中市政を進める市民のつどい(7月30日、横浜市従会館、国政報告: 畑野君枝元衆院議員、主催: 市民の市長をつくる会)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2022年10月号)／8) 「山中市政誕生から1年 市民のための横浜市政を考える講演と報告」(8月20日、横浜市技能文化会館、主催: 市民のための横浜市政を進める会、講演: 山崎圭一(横浜国立大学教授)「山中市政誕生の評 価と住民自治をどう発展させるか」)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2022年10月号)／9) 神奈川革新懇主催「夏の活動交流会」(9月3日、藤沢市民会館)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2022年11月号)／10) 安保法制違憲かながわ訴訟の原告団集会(9月5日、かながわ労働プラザ)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2022年10月号)／11) 神奈川県大学人有志が「安倍元首相国葬に反対する共同声明」を発表(9月26日)(JSA 神奈川支部通信, 2022年11月号)／12) 根岸線沿線九条の会連絡会主催田中優子さん講演会「迫る改憲発議ー改憲4項目という入り口」(9月30日、杉田ホール)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2022年11月号)／13) 山下ふ頭の再開発についての学習会(11月2日、主催: 市民のための横浜市政を進める会、講師: 水上裕之さん(横浜港ハーバーリゾート協会事務統括)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2022年12月号)／14) 県民集会「改憲発議をさせない 私たちの改憲論議」(11月3日、かながわ県民センター、講演: 瀬 瀬厚さん(元山口大学副学長)「新たな段階を迎えた護憲運動の現在とこれからー軍事国家日本への道を阻むために」)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2022年12月号)／15) 栄区九条の会学習会「宗教、平和、憲法、一人の牧師の視点から」(11月12日、あーすぷらざ、講師: 秋吉隆雄牧師)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年1月号)／16) 栄区革新懇総会と記念講演「横須賀火力発電所建設問題と気候危機」(11月23日、サカエスタ、講師: 鈴木陸郎さん)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年1月号)／17) 11.30集会「いま戦争と憲法に向き合う」(11月30日、神奈川県民ホール、講師: 田中優子さん(法政大学名誉教授)「改憲発議と自民党憲法草案」、金平茂紀さん(TBS テレビ)「ウクライナ・憲法・メディア」)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年1月号)／18) 安保法制違憲かながわ訴訟・東京高裁第1回控訴審(12月6日)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年1月号)／19) 九条科学者の会 2022年12月講演会「立憲主義国家の破壊と再生」(12月18日、オンライン、講師: 奥野恒久さん(龍谷大学教授)「日本国憲法平和主義の今日的意義」、宮間純一さん(中央大学教授)「歴史のなかの『安倍国葬』問題」)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年2月号)／20) 県政ウォッチ「県内基地調査&石炭火力発電所現場視察」(12月2日、主催: 平和で明るい県政をつくる会)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年3月号)／21) 横浜市2023年予算案学習会(2023年2月6日、主催: 市民のための横浜市政を進める会)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年4月号)／22) 「建国記念の日」に反対する2.11神奈川県民のつどい(2月11日、かながわ県民センターホール) 講師: 前川喜平さん(元文部科学省事務次官)「憲法と教育の今日的課題ー人権・平和・民主主義の守り手は」)に参加、JSA 神奈川支部も参加する実行委員会主催(JSA 神奈川支部通信, 2023年3月号, 4月号)／23) 第3回山中市政を進める市民のつどい(2月23日、横浜市従会館、講演: 川瀬憲子さん(静岡大学 教授)「国の予算と地方財政の課

題「集権型システムの構造」、主催：市民の市長をつくる会）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2023 年 4 月号）／24）県知事選勝利をめざす決起集会（2 月 27 日、関内ホール、主催：平和で明るい神奈川県政をつくる 会）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2023 年 4 月号）

2. 研究活動

- 1) JSA 総合学術研究集会 in 大阪を「新型コロナウイルス・気候危機下の科学と社会－脱炭素・脱原発・脱貧困」に参加（11 月 19 日～12 月 11 日、大阪大学）に参加（飯岡）（JSA 神奈川支部通信, 2023 年 1～3 月号、日本の科学者, 2023 年 3 月号）
- 2) 支部研究交流会を 2023 年 2 月 18 日にかながわ労働プラザで開催、講演：萩原伸次郎代表幹事（横浜国立大学名誉教授）「危機に立つ日本経済－日米関係から読み解く」に続き、鈴木秀顕さん（松蔭大学 准教授）「持続可能な教育を考えてもったいない」、塩川祥子さん（静岡大学元教授）「静岡大学工学部初 の女性教員になって」、飯岡ひろしさん（SUW 研究所代表）「かながわの水道と持続可能性」、後藤仁敏 さん（鶴見大学名誉教授）「山中市政の 1 年半と 4 月の横浜市会選の課題」の 4 つの話題提供があり、活 発な討論をおこなった（JSA 神奈川支部通信, 2023 年 4 月号）

3. 組織活動

- 1) JSA 神奈川支部第 58 回定期大会（5 月 14 日、かながわ総研会議室） 出席 7 名、委任状 21 名、計 28 名の参加で開催（成立は会員数 51 名の 3 分の 1 で 17 名以上）。記念講演：三宅正純会員「歯科疾患の由来－なぜ、歯科疾患はあるのか」 活動報告、活動方針、会計報告を了承、役員選出を行なった（JSA 神奈川支部通信, 2022 年 7 月号）／2) 日本科学者会議第 53 回定期大会（5 月 21 日・6 月 12 日、オンライン開催）に、代議員として飯岡 が参加、全国幹事として後藤がオブザーバー（JSA 神奈川支部通信, 2022 年 7 月号、日本の科学者, 2022 年 9 月号）／3) JSA 神奈川支部（JSA-Kanagawa）ホームページを 7 月から開設した。毎月一回の更新を原則としている（JSA 神奈川支部通信, 2022 年 10 月号）。今回の第 59 改定期大会議案、第 58 回定期大会決議、支部通信のバックナンバーは 2021 年 7 月以降すべて掲載している。ブログ欄をもうけて会員の声を反映したいと考えている。／4) 支部幹事会は 6 月から毎月開催し、計 11 回となっている。幹事会では経費削減のため、「日本の科学者」の送付実務を幹事で行っている。幹事会の参加は 2 人から 6 人、3 月から会議に参加できないと幹事にはオンラインで討議に参加してもらっている。／5) 支部研究交流会は、事務所移転でやむなく労働プラザで開催したが、会員以外に全県から参加し 18 人で成功し、内容も好評であった。かながわ総研の事務所は 3 月に移転した。幹事会程度の会議は可能である／6) 現勢 会員 49 人（特別会員 1 人）、読者は 3 人（4 月末） 退会理由 健康、財政、興味がもてない 3 人、入会 2 人 会費納入 会員 40 人、読者 3 人、6 月の請求日以外に 2 回の督促を行っている。全国的には会員は減少傾向のなか神奈川はほぼ維持している。／7) 日本科学者会議全国 58 期第 2 回 全国幹事会（7 月 24 日、オンライン開催）の報告（JSA 神奈川支部通信, 2022 年 11 月号）、58 期第 3 回幹事会（12 月 25 日、オンライン開催）の報告（JSA 神奈川支部通信, 2023 年 2 月号）／8) 関東甲信越地区会議 JSA57 期第 1 回関東甲信越地区会議（10 月 7 日）（JSA 神奈川支部通信, 2021 年 11 月号）、JSA57 期 2 回関東甲信越地区会議（12 月 22 日）（JSA 神奈川支部通信, 2022 年 2 月号）、JSA57 期第 3 回関東甲信越地区会議（4 月 28 日）（JSA 神奈川支部通信, 2022 年 6 月号）、事務局長会議（3 月）オンラインはネ

ット環境不具合で延期、再度は参加できなかった。

B. 活動方針

安倍内閣、菅内閣を引きついだ岸田内閣は、新型コロナウイルス COVID-19 による感染者や死者は世界的規模に拡大し、私たちの生命と経済活動に深刻な影響をもたらすなかで、PCR 検査など疫学的な措置に後ろ向きであるなど、その対応や予算措置はつねに後手であった。5 月には五類相当に移行するが、コロナ後遺症に苦しむ人々も多く、パンデミックに応じた医療体制の確保や経済的困窮者、零細企業などへの支援を政府に強く要望する。大学や研究機関での教育、研究活動の独立性を脅かす学術会議会員の任命拒否問題は、政府は今国会での提出を断念したが、軍事費増を意図した予算案とともに学問の軍事化を推し進めるものであって断固反対する。ロシアのウクライナ侵攻は 3 年目になって、プーチン政権は核使用の脅かしまでして、これを正当化しようとしている。世界はいまだ平和への道筋を見いだすことができない。しかし、このような事態だからこそ、学術の役割は重要である。JSA 神奈川支部は JSA 設立の趣旨に添い国民とともに学問・研究の自由ためさらに行動することとし、以下の支部活動に取り組む。

1. 社会的活動

1) 平和と民主主義のための各種集会や行動に参加する。／2) 学術会議会員候補 6 名の任命拒否を撤回させる運動に参加する。／3) 横浜市の山中市政を支える活動に参加する。／4) 憲法 9 条を守る運動に参加し、憲法 9 条科学者フォーラムを計画する。／5) 大学、研究機関における軍事研究に反対する。／6) 神奈川の医療体制の強化、検査の充実など、行政への働きかけをおこなう。

2. 研究活動

1) 諸会議にインターネットを活用して参加しやすいものとする。また、参加の困難な会員の意見交換の機会をもうける。／2) コロナは 5 類に移行したが、政府は何らの検証もしていないだけでなく、医療逼迫が起きる可能性もあるなかで、保健所、医療機関の職員との連携など、実態に応じた提言をしていく。／3) 関東甲信越地区シンポジウムを共催する。／4) 『日本の科学者』読書会、他団体との交流会、支部定例研究会、支部研究交流会を開く。

3. 組織活動

1) 支部通信を毎月発行する。／2) いろいろな機会に JSA 加入を訴え、意欲的に会員拡大に取り組む。現在、読者を含めて 53 名(読者ふくむ)から 60 名をめざす。／3) 支部幹事の補充を行い、体制を強化する。／4) 支部のホームページの充実につとめる。／5) 全国幹事会に参加し、全国事務局の活動を支える。

C. 支部費改定

大会で可決した内容は議案のとおりです。なお提案したように「支部会費の改定は 2,400 円(月 200 円)から 4,800 円(月 400 円)するものです。ただし、今年度は改定額、減免措置などに、会員の意見をお聞きし、一年後の 2024 年度の大会で実施を決定し、赤字はコロナ禍で予定していた行事を特別会計に積立したこともあって、ここから支出することにした予算案」です。詳細はホームページをご覧ください。

D. 会計報告・次年度予算

会計報告および次年度予算(第58・59期)

※1 支部会費は会費の内数で括弧書きとした

一 般 会 計					
	決算 (第58期 2022年5月～2023年4月)			2021 (参考)	備考
	予算	決算	差額	決算	
収入					
前期繰越金	150,000	150,000	0	314,972	
会費・雑誌代 (支部会費)	648,000	464,880 (96,000)	△ 183,120	545,400	10800×40人、5400×4人 (2,400円×40人) ※1
補助金	30,000	34,600	4,600	24,000	誌代還元金含む
雑収入	1,000	859	△ 141	0	懇親会残金
計	829,000	650,339	△ 178,661	884,372	
支出					
会費 (誌代)	504,000	384,151	119,849	431,102	半年払い
支部活動費	30,000	57,444	△ 27,444	0	
会誌等郵送料	50,000	60,463	△ 10,463	44,148	
HP維持費	—	—	—	—	
集会参加補助	50,000	43,500	6,500	0	学術総会交通費など
幹事交通費補助	40,000	37,920	2,080	38,500	
総研会費	36,000	36,000	0	36,000	かながわ総研会費
事務用品	30,000	46,815	△ 16,815	40,721	事務所移転 スタンプなど
振替手数料	10,000	6,734	3,266	7,462	
予備費	—	—	—	—	
計	750,000	673,027	76,973	597,933	
次年度繰越金	79,000	△ 22,688	101,688	286,439	
合計	829,000	650,339	178,661	884,372	

予算 (第59期 2023年5月～2024年4月)	
予算	備考
110,000	
648,000 (144,000)	10,800×60人 900円/月 (2,400円×60人) 200円/月
30,000	
2,000	
790,000	
504,000	7月から6月
40,000	増 10,000円 現地・オンライン※2
50,000	
40,000	新規項目 維持管理委託など
30,000	減 20,000円 総学分
37,000	減 3,000円
36,000	
40,000	増 10,000円
6,000	減 4,000円
5,000	新規項目
788,000	
2,000	
790,000	

※2 1,000円/1H (一日5,000円打切)

特別会計 (特別事業等積立金)			
収入			2021 (参考)
前期繰越金	832,552		812,163
一般会計から繰入	0		136,439
その他	0		-
計	832,552		948,602
支出			
ホームページ制作費	103,950	残額支払	116,050
一般会計へ繰出	132,688		-
計	236,638		116,050
残額	602,428		832,252

正味財産 (現金・預金)		
帳簿		
特別会計	602,428	
前期繰越金	110,000	
計	712,428	
内訳		
振替口座	637,995	ゆうちょ銀行
普通口座	59,663	ゆうちょ銀行
その他	-	
現金	14,770	
計	712,428	

第 58 期決算・第 59 期予算 (次頁の表参照)

会計監査報告

第 58 期における支部会計に関して、出納記録及び証拠書類を精査し、現金・貯金残高と照合しましたところ、すべて適正に処理されていることを認めました。

以上署名の上報告いたします。 2023 年 5 月 20 日 会計監査 北山宏之

E. 役員選出

大会で選出した役員 支部幹事：飯岡ひろし、後藤仁敏、鈴木秀顕、惣田昱夫、中野広、萩原伸次郎、濱田盛久、益田総子、横尾恒隆、渡邊良朗／会計 監査：北山宏之

支部事務局長：飯岡ひろし（会計兼務）／支部代表幹事：萩原伸次郎／支部推薦全国幹事：後藤仁敏／JSA54 回定期大会代議員：飯岡ひろし、補欠 後藤仁敏

古川和彦さんが勇退され、新たに鈴木秀顕さんが支部幹事になりました。
九条科学者の会 2023 年 6 月講演会「安保 3 文書・実質改憲のうごきのなかですすむ日本全土の基地化」の報告

後藤仁敏

2023 年 6 月 25 日（日）午後、九条科学者の会 2023 年 6 月講演会が「安保三文書・実質改憲のうごきのなかですすむ日本全土の基地化」をテーマにオンラインで開催され、約 60 名の方々が参加しました。

最初に、九条科学者の会事務局長の永山茂樹さんが「昨年 12 月に閣議決定された安保三文書で、大軍拡が進められ、沖縄はじめ全国の基地が強化され、憲法破壊が進められています。二人の講師の話でその実態を明らかにしたいと思います」と挨拶しました。

講演 1では、三多摩法律事務所の弁護士・山口真美（やまぐちなおみ）さんが「日本の基地問題と憲法」と題して、スライドを用いて、次のように講演しました（図 1）。在日米軍基地とは、日米安保条約にもとづいて米軍に提供された施設と区域で、全国の 32 都道府県 130 カ所、総面積 97,984 ㌔あり、都内にも横田飛行場など 9 カ所、1600 ㌔、東京ドーム 340 個分あり、発展を阻害しています。



図 1 講演する山口真美さん

1945 年に日本はポツダム宣言を受け入れ、1947 年の憲法施行により平和国家としての道を歩みだしましたが、1951 年のサンフランシスコ講和条約と日米安保条約により、主権は回復されたのに、占領軍が在日米軍としてそのまま駐留し続け、1952 年の日米合同委員会の設置、1954 年の自衛隊発足、1960 年の安保条約の改定、日米地位協定により、安保条約が憲法に優先する仕組みが作られました。

安保条約では、2 条で政治・経済における協力、3 条で憲法上の規定にしたがって自衛力を維持発展させる、5 条で共同防衛、6 条で基地の提供と地位協定とされています。砂川判決では、1959 年 3 月の伊達判決では「在日米軍は憲法 9 条の戦力に当たり違憲」とされたのに、1959 年 12 月の最高裁判決では「9 条 2 項の戦力には外国の軍隊を含まない」として合憲とされました。

日米地位協定では、米国人には基本的に日本の法令は適用されず、全国基地方式で国内のどこでも地元住民・自治体の移行に関わらず基地の提供が可能で、騒音被害や水質や土壌汚染が放置されています。原状回復の義務はなく、したい放題になっています。船舶、航空機の出入移動は自由で、最低安全高度も適用されず、横田基地は 1 都 6 県の上空では 700m までの空域を占有しています。犯罪を犯しても裁判権を行使できず、墜落事故を起こせばどこでも米軍は自由に立ち入り、日本人は排除されます。民事でも求償権が行使されたことはありません。ドイツ、イタリア、イギリスと比較すると、他国では基地内への管理権（立入権）、航空機事故の捜査権があり、訓練や演

習には承認が必要なのに、日本では管理権も捜査権もなく、訓練や演習の承認は不要です。

ガイドラインの適用は、極東からアジア・太平洋地域、そして全世界へと拡大し、今回の安保三文書では、米中の競争激化により、反撃能力（敵基地攻撃能力）の保有まで、大きく変化してきました。憲法 9 条を完全否定し、アメリカと一緒に戦争する国へ、戦争国家づくりの総仕上げが行なわれつつあります。

講演 2 では、沖縄大学人文学部教授の憲法学者、高良沙哉（たからさちか）さんが「琉球弧の軍事要塞化と憲法」について、以下のように話しました（図2）。



図 2 講演する高良沙哉さん

2014 年から、与那国島、石垣島、宮古島などで自衛隊による軍事要塞化が進められています。安保三文書には、「島嶼」「南西地域」の文字が並んでいます。沖縄を「含む」日本を防衛するというより、「沖縄で」防衛する軍事力の増強のようです。「第一に外交」と言いながら、「抜本的に強化される防衛力」を前提にしており、沖縄では軍事要塞化によって戦場にされてしまう危機感が高まっています。

憲法との関係では、軍事力による「自衛」は許されるのか（自衛には集団的自衛権も含まれます）、「反撃能力」の保有は憲法で許されるのか、憲法 13 条「生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする」とあることから、専守防衛を認める見解があるが、スタンド・オフ・ミサイルのような攻撃型兵器は専守防衛の範囲かは問題です。現実に合わせて憲法を変えるべきという議論は本末転倒ではないでしょうか。

1971 年の「復帰措置に関する建議書」で、沖縄は基地のない平和な島としての復帰を強く望みました。しかし、米軍基地は減らず、新たに自衛隊基地が配備されました。日本にとっての沖縄の価値は「軍事基地」なのでしょうか。建議書の要望は実現されず、日米安保条約でも沖縄は「要石」として必要とされ、復帰 50 年の年の年末に閣議決定された安保三文書は、さらなる軍事的負担をしいるものでした。

2022 年 11 月の日米共同統合演習「キーン・ソード 23」では、公道や民間港が使用され、民間の活用が進み、那覇基地に戦闘車が展開されました。2019 年から宮古島に陸上自衛隊の駐屯地が開設され、2021 年には弾薬庫に弾薬（ミサイル）が搬入されました。石垣島には 2023 年に、小学校や集落の近くに陸上自衛隊駐屯地が開設されました。2023 年には沖縄本島にも地対艦ミサイルが配備されました。

安保三文書では、沖縄の役割が強化されています。国家安全保障戦略では、奄美以南に米軍と自衛隊の協力を強化してミサイル防衛網を設置し、有事を念頭においた対応能力をもつ海上保安能力を大幅に強化するとされています。国家防衛戦略では、島嶼に対する侵攻に備えて、自衛隊や民間輸送力を活用し、南西地域の空港、港湾を利用し、司令部は地下化を進めるとされています。島嶼防衛のため、沖縄の陸上自衛隊 15 旅団を師団に格上げし、スタンド・オフ防衛能力を強化し、水上艦艇部隊も配備するのです。国家安全保障戦略には「我が国と郷土を愛する心を養うとあり、教育基本

法とともに愛国心を強要しています。自衛官、海上保安官、警察官への評価を高める動きは、憲法 9 条への自衛隊明記と連動しています。

安保三文書による沖縄の軍事負担増、米軍と自衛隊の強化、自衛隊部隊と米軍基地の増強による南西地域の防衛体制の強化は、沖縄が再び「捨て石」にされる危機感を高めています。それは人間の生命の安全を軽視するもので、憲法に保障された人間の尊厳を踏みにじるものです。今こそ、憲法に保障された人間の平和に生きる権利を実現すべきです。沖縄は再び「捨て石」にされるために復帰したのではないのです。

最後に、永山事務局長が、今年秋にもこのような講演会を開催し、憲法 9 条改悪を阻止する運動をすすめたいと述べました。

今年 1 月 11 日の日米外務・防衛閣僚会議で、横浜港のど真ん中に米陸軍揚陸艇部隊の配備が合意され、4 月 16 日から配備が進められている横浜市民として、日米安保条約・地位協定から安保三文書まで、学ぶことが多い講演会でした。沖縄県民の米軍辺野古新基地反対のねばり強いたたかひに学び、固く連帯しつつ、私達も米軍基地配備撤回の運動を進めたいと思いました。

講演会を準備された永山茂樹事務局長および、素晴らしい講演をされた山口真美さんと高良沙哉さんに、厚くお礼を申しあげます。

6 月 9 条学校「平和と地球を守るための憲法 9 条」の報告

後藤仁敏

2023 年 6 月 30 日の夜、九条かながわの会が「平和と地球を守るための憲法 9 条」をテーマに 6 月 9 条学校を神奈川公会堂で開催し、約 200 名が参加されました。

オープニングとして神奈川のうたごえの 50 名の皆さんが、素晴らしい合唱を聞かせてくださいました(図 1)。指揮は松本良江さん、ピアノ伴奏は荒奈津子さんで、「青い空は」「翼をください」「今もどこかで」「この星の名前は地球」の 4 曲でした。

気候正義と憲法 9 条

プロダイバーで環境活動家の武本匡弘さんが「気候危機と平和の危機、気候正義と憲法 9 条～海から見る地球」について、スライドを示しつつ、以下のように 1 時間講演しました(図 2)。

かつては生物多様性溢れる海がどこにでもありました。

しかし、現在では温暖化という気候危機によりサンゴや海藻が死滅し、死の海が広がっています。子どもの目の

前から未来が消えてゆく現実を見て、32 年間の経営者生活を卒業し、自分の残りの人生を環境活動のみに軌道修正しました。

マーシャル諸島では、核実験による核の難民から、国土の消失による気候難民に余儀なくされ、自給自足が略奪されています。温暖化により、北極の氷が溶け、海面が上昇して国土



図 1 神奈川のうたごえの合唱



図 2 講演する武本匡弘さん

が消滅する危機に瀕しているのです。

気候正義とは、排出量が多い10カ国が70%の二酸化炭素を出しているのに、わずか9%しか出していない33カ国が極めて高いリスクを被っていること、過去・現役世代が出した二酸化炭素は数十年、数百年後まで残り、未来世代に被害を及ぼすこと、この2つの不正義を改めることです。このままだと地球はまもなく臨界期を迎えます。

太平洋をヨットで航海すると、至る所にペットボトルが海面に浮かんでおり、島々の海岸には多くのプラスチック製品が漂着しています。また、海水中にはマイクロプラスチックが溢れています。

気候変動と海洋プラスチック問題は同じ問題です。プラスチックは、作ってもリサイクルしても大量のCO₂（二酸化炭素）を出すので、気候変動、温暖化の原因のひとつになっているのです。さらに、プラスチック問題は人の健康の問題にもなっており、有害な添加物・化学物質（環境ホルモン）でもあります。海洋プラスチックの毒性と漂着ゴミは非常に危険なもので、プラスチック製品は作ってしまうと将来の世代のつけになるのです。

藤沢のエコストアパパラギでは、プラスチックを使わない歯ブラシやスポンジ、容器を販売しています。私の著書『海の中から地球が見える～気候危機と平和の危機』（あけび書房）をぜひ、お読みください。

気候危機に立ち向かうには、誰かを何かを犠牲にしている私たちの暮らしを改める必要があります。ただし、我慢は続きません。生活の中の当たり前のことから疑ってみること、身の回りのプラ製品の使い捨てや消費を見直し、個人の生活を変え、生活者が社会の空気感を変えること、集まって学習する機会から声上げる行動へと進み、社会を変えるのです。

子どもたちには声をあげる行動の大切さ、自分が社会を変えられるという事を伝えること、おとなには生活者が社会を変え地球を救うこと、気候政策を持った候補者や政党への投票を呼びかけることが大切です。

気候危機も平和の危機も同じです。自分も社会を変えられます。私たちが自分の生活を、社会を変えましょう。

岸牧子さんの訴え

次いで、横須賀市民九条の会の岸牧子さんが登場し、4月の神奈川県知事選挙で掲げた「再エネ（再生可能エネルギー）100%」の意味を訴え、「横須賀の石炭火力発電所は今日から稼働し始めました。気候危機も平和もギリギリです。4年後はもうないと思い、立候補しました。気候危機をとめ、戦争を止めましょう」と元気いっぱい呼びかけました（図3）。



図3 「再エネ100%」の岸牧子さん

武本さんの講演の後で聞く、岸さんの訴えには説得力があり、参加者のところに深く響きました。

横浜ノースドック監視行動の報告

リムピース編集部の星野潔さんが、ノースドックの監視行動をスライドにより次のように報告しました（図4）。

リムピースは1966年、基地の動きを追う各地の自治体議員や市民が立ち上げ、在日米軍に関する情報の発信を行ってきました。各地の基地を訪ねて全国の情報を集め在日米軍の運用実態や訓練状況を監視してきています。



図4 監視行動を報告する星野潔さん

横浜ノースドックは、米陸軍の輸送、米海兵隊の輸送・行動の中継、海軍特殊任務船(音響測定艦、海洋調査船、弾道ミサイル追跡艦等)、米陸軍 APS(Army Prepositioned Stocks: 陸軍事前配備貯蔵)の拠点となっています。また、米陸軍揚陸艇を運用し、米陸海空軍ヘリコプターの訓練場や発着場、横田基地の空軍 CV-22 オスプレイの搬出入にも使用されています。

横須賀軍港と、停泊スペースの補完、海軍の物資や貨物、軍艦の部品、故障機などの搬出入など一体的に使用され、陸上自衛隊も使用し、日米共同軍事訓練の場にもなり、米国本土の部隊の訓練にも使用されています。

じつは、横浜ノースドック以外の横浜港の施設も、米軍に使われています。本牧埠頭 D 突堤は米軍のコンテナ輸送の拠点とされ、民間造船所・船舶修理工場でも米軍等艦船が整備され、鈴繁埠頭では、軍事演習の資材が積み下ろしされています。

揚陸艇部隊の配備によりノースドックで何が起きるか、今後も監視行動を続けます。

岡田尚事務局代表の行動提起

最後に、岡田尚事務局代表が、岸田首相による改憲阻止に向けて、大軍拡・大増税反対署名、安保法制違憲訴訟東京高裁控訴審の闘い、「安保法制違憲訴訟全国ネットワーク」と「9 条改憲 NO! 全国市民アクション」にノーベル平和賞をの署名、横浜ノースドックへの揚陸艇部隊配備反対県民署名を進めよう、後藤仁敏さんのメール発信による「今後の行事」で情報を共有しようと、訴えました(図 5)。



図 5 行動提起する岡田尚事務局代表

そして、この集会を契機に、九条かながわの会の事務局長を私から高橋由美さんに交代することを紹介し、登壇した二人に大きな拍手がおくられました。

なお、後藤は、今後は岡田さんとともに事務局共同代表として高橋事務局長を支えます。

ブラックホールを介して一般相対論と量子論と熱力学の深い関係を考える

神奈川民間懇 北山宏之

参考文献:「時空と熱力学」 数理科学 2011 年 10 月号

(1) ブラックホールと熱力学

物理学の理論:力学・電磁気学:基本的な法則が与えられていて、物体の間に働く力、作用が決まっている。

熱力学:熱に関する性質を基礎として出発し、その性質がなぜ成り立つのかは問わずにそこから得られる結論だけで理論を構成するやり方をとる、現象論と呼ばれる手法。

現在では熱力学の基礎は量子統計力学により与えられているが、熱力学はそれを導く微視的理論がどのようなものであるかと問うことなしに適用範囲を誤らなければ必ず成立する。したがって模型などに依らない普遍的な有効性を持つ。

また、重力理論は現在アインシュタインの一般相対論で定式化されており、その解であるブラックホールで熱力学的性質が成り立っているというのは大きな驚きをもって受け止められた。ブラックホールは周りにあるものを吸い込みまたそこからは何も放出しない天体である。

(2) ブラックホールの蒸発 一般相対論+量子力学→熱力学

1974年、ホーキングは、ブラックホールはブラックではなく粒子を連続的に放射していることを示し、その熱放射は一定の温度をもつことを示し、物理学界に衝撃を与えた。これは地平の内側からは何も脱出できないとこれまで述べてきたことが間違っていることを意味するものではない。

この放射は、ブラックホールの地平近くの電磁場や重力場に量子力学を適用することによって導かれる。粒子はブラックホールの中からではなく、ブラックホールの地平のすぐ外側の“空っぽの空間”から生まれる。これは次のように理解できる。

“空っぽの空間”と考えられているのは、実は完全に空っぽではありえない。電磁場や重力場などの場が厳密にゼロではないからだ。不確定性原理の1つの表現は、

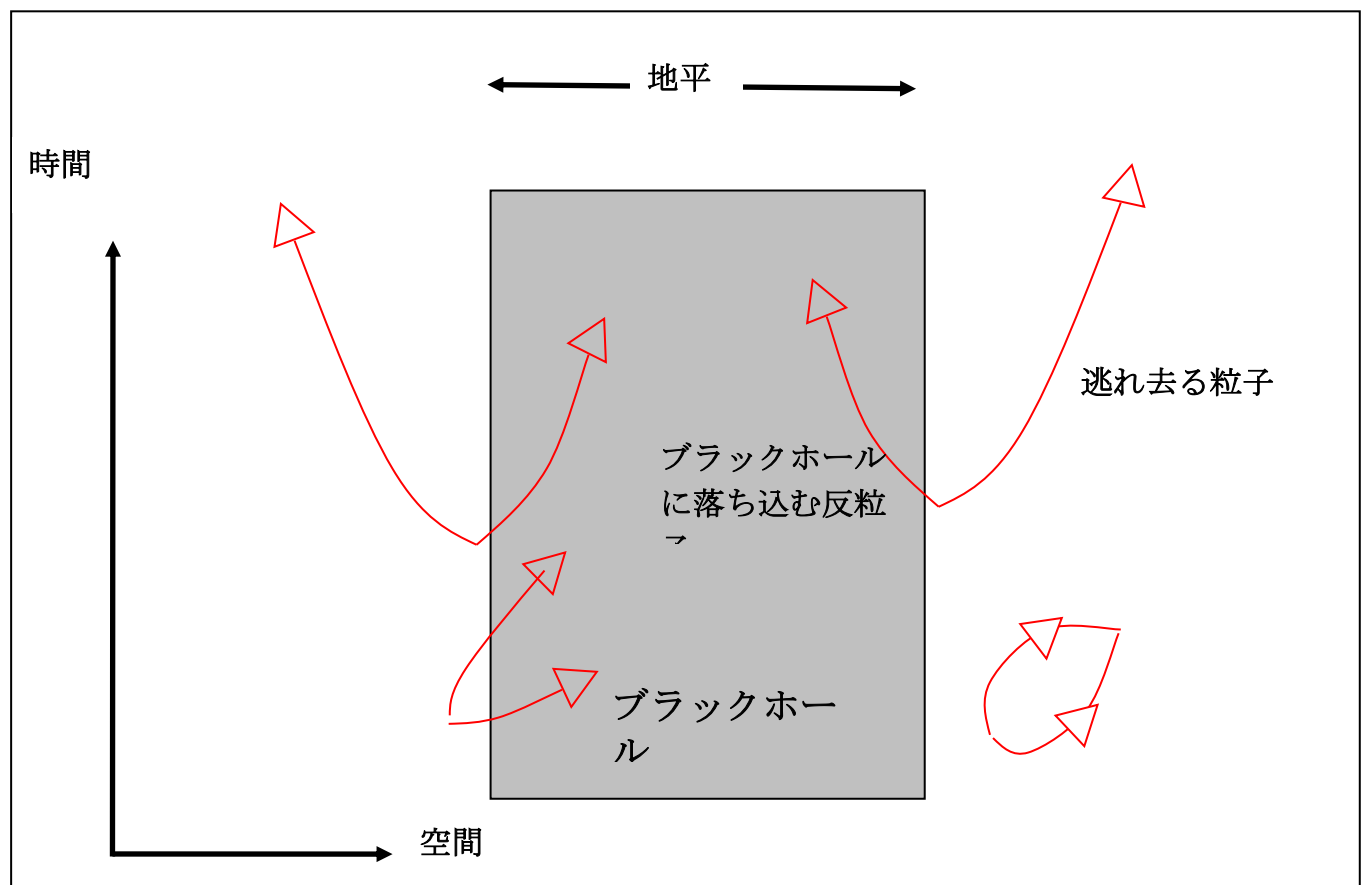
$$\Delta E \cdot \Delta t \sim \hbar$$

であり、ここで ΔE は時間 Δt の間にある量子力学的状態にある粒子のエネルギーの最小の不確定性である。場の量子論によれば、空間はある時刻に生成され、別の時刻に消滅する光子の対(より一般的には粒子・反粒子の対)からなる電磁場の“真空の揺らぎ”で充満している。そのような光子対はエネルギー保存則を破るが、 ΔE をその破れの量としたとき、光子対が、 $\Delta t \sim \hbar / \Delta E$ 以下しか続かないなら、どんな物理法則も破らない。

ブラックホールの地平面近くの時空でも真空の揺らぎは起こっている。負エネルギー光子は自由に伝播できず、 $\hbar/E$ の時間内に正エネルギー光子と再結合しなければならない。

しかし、もしこの光子対が、図に示したように地平面のすぐ外側で作られると、負エネルギー光子は時間 $\hbar/E$ がたつ前に地平面の中に入る可能性がある。すると正エネルギー光子は無限遠に逃げられる。

負エネルギーの光子というのは一見奇妙であるが、地平面の内側では重力の負のポテンシャルエネルギーが静止質量のエネルギーを上回るためにこのようなことが可能になる。



この光は遠方の観測者にはブラックホールから放出されたと見える。負エネルギーの光子の吸収によってブラックホールの質量はしだいに減少し、ブラックホールは有限な時間で蒸発してなくなってしまうことも示される。

詳しい計算により、ブラックホールの寿命 τ は、

$$\tau \sim M^3 / \hbar$$

放射される光子は温度 T

$$T = \frac{c^3 \hbar}{8 \pi G k M}$$

をもつ黒体の特徴的なスペクトルをもつことが示された。場の量子論から温度が導出されるのではなく、上式右辺の量を温度と読み替えれば、黒体放射と一致するというのである。(計算は一応フォローしたが、とっても複雑！)

上の2つの式より、ブラックホールが大きければ大きいほど寿命は長く、その温度は低い。たとえばX線連星のブラックホールで $10^{-7} \text{ K} \ll 2.7 \text{ K}$ (宇宙背景放射)。

放出される粒子の種類は、81%がニュートリノ、17%が光子、2%が重力子であることがわかっている。質量をもった粒子も放出されるが、蒸発最後の高温の時を除き、ほとんど出てこないと考えられている。

以上より、ブラックホール周りの粒子の量子効果により、ある温度 T の熱的分布した熱放射としてそれらの粒子が放出されるということが示された。

(3) 重力と熱力学 熱力学+量子力学→一般相対論

ブラックホールが温度をもつということをより一般の時空に拡張して、ブラックホールだけでなく地平線のあるどんな時空にも量子力学の理論を調べると温度があることがわかった。これは時空を温めることができることを意味する。

Jacobson (ジェイコブソン、またはヤコブソン) は1995年の論文で、(2)の議論を逆向きにして、熱力学から出発してある種の状況下では、アインシュタインの重力方程式が再現されることを示した(あっと驚く、度肝を抜かれたという感想！この論文のフォローは未完)。

熱力学は微視的構造、理論の詳細によらず普遍的に構成できるので、ここから普遍的な重力理論が構成されると期待される。Jacobsonの考え方が正しければ、アインシュタイン方程式は基礎方程式ではなく、熱力学的な状態方程式とみなすべきではないか提案した。

この場合、重力理論のくり込み可能性は問題でなくなり、ダークエネルギー問題も解決するかもしれない。

(補足：自然界には4つの相互作用があり、重力以外の電磁相互作用・弱い相互作用・強い相互作用の3つは、ゲージ対称性を持つ局所場理論として量子力学的な記述が可能になっている。しかしながら重力は、エネルギーを持つものに普遍的に働く力でありながら、いまだに量子力学的な記述ができていない)。

安保法制違憲かながわ訴訟・東京高裁での第2回控訴審の報告

後藤仁敏

2023年6月6日、安保法制違憲かながわ訴訟の第2回控訴審が東京高裁101号法廷で開かれ、傍聴席を埋めつくす多くの原告らが集まりました。まず、裁判長が脇博人氏に交代

しました。協裁判官は横浜地裁にも勤務したことがあるとのことでした。

関守麻紀子弁護士が、昨年12月に閣議決定された安保三文書の反撃能力の保有で、より戦争の危険が具体化したとの意見を述べました。集団的自衛権行使に反撃能力の保有が加わったことで、日本が攻撃されていなくても他国が敵に攻撃されていると言え、その国を攻撃することになり、しかもミサイル基地だけでなく敵の中核まで攻撃するとしており、憲法違反であることは明らかだと述べました。



福田護弁護士は、憲法改正決定権の侵害について、東京大学の石川健治教授らを是非とも、この裁判で証人としての意見陳述を実現したいと述べました。

最後に、次回は、8月29日14時からと伝えられました。

報告集会でも、関守弁護士は、反撃能力の保有でより戦争の危険が迫ったと、意見を述べたことを報告しました。

図1 報告集

会の福田護弁護士ら

福田弁護士は、仙台高裁で5月19日に早稲田大学の

長谷部恭男教授が90分にわたって、証人尋問が行われたことを紹介しました（図1）。

長谷部教授も石川教授も、憲法改正決定権の侵害や、危険が迫っている時には事前配慮・予防原則が適用されることについて意見を述べており、東京高裁でのかながわ訴訟で、石川健治教授らの証人尋問を実現したいと述べました。

さらに、福田弁護士は、横浜ノース・ドックへの米陸軍揚陸艇部隊の配備について、撤回を求める署名運動を準備していることも報告し、大きな拍手を受けました。

行事案内

☆7月21日（金）13:30～16:00 中国歴史講座特別編2 詩人杜甫の人生とその反戦詩を見る 会場：戸塚地区センター2階B会議室 参加費500円 講師：菅野正則さん（中国研究家） 主催：日中友好協会横浜西南支部 問合せ：080-5081-6522（大幡）

☆7月21日（金）18:30～20:00 「オンライン学習会かわさき」主催講演会 講演：星野潔（リムピース編集長）「横浜ノースドックってどんな基地？そこで何が起きているの？」 ノースドックをご存じですか。ノースドックは横浜港の中心部にある米陸軍の施設です。いま、横浜ノースドックに揚陸艇部隊の配備が新たに進められています。この部隊は、沖縄・南西諸島の自衛隊基地を拠点とする米海兵隊沿岸連隊に対して、軍事物資や兵士などの輸送を担うとされています。中国との戦争を最前線で担う部隊が横浜ノースドックに来るのです。今回は、長年にわたって横浜ノースドックの動きを観察してきたリムピース編集長の星野潔さんに、横浜ノースドックでいま何が起きているのかについて、詳しくお話しいただきます「オンライン学習会かわさき」連絡担当：前田（mahamagga-biz@yahoo.co.jp） YouTubeアップのお知らせ：7月1日に開催された福田護弁護士・山根徹也先生の講演会の記録を以下にアップいたしましたので、是非ご覧ください。20230701 横浜ノースドックへの揚陸艇部隊の配備反対県民署名の開始に当たって<https://youtu.be/1IT9JDHwDiI>

☆7月21日（金）18:30～21:00 座標塾第3回 働くことが壊されている一介護現場から 講師：伊藤みどりさん（ホームヘルパー国家賠償訴訟原告） 参加費1回1000円（テオリア会員500円） 会場：文京区民センター3階D会議室（地下鉄春日駅）、またはオンライン＝要申込 要申込。会場受講申込7月20日まで。オンライン申込は7月14日まで。オンライン受講は研究所テオリアの口座（下記）に参加費振込みください。会場受講は当日払いで構いません。参加費振込先：郵便振替00180-5-567296 研究所テオリア

☆7月21日（金）19:00～ 女性市民連合会議 オンライン（zoom使用） この会議では、①市民運動に参加する中で抱えている困難や悩みの共有、相互アドバイス、②今後の運動への知恵出し合い、市民連合への要望などを話し合いたいと思います。そして、この会議がより誰もが生き生きと活動できる運動を創れるきっかけになればと思っています。女性メンバーの積極的な参加をお願いします。そ

して、貴団体の女性メンバーにご参加いただけるよう、お伝えいただけますと助かります。なお、もちろん市民と野党の共闘は女性だけで創っていくものではありません。しかし、女性だけのほうが話しやすいという声もありますので、今回の参加者は女性限りとします。今後について参加者のみなさんと相談しながら決めていきます。どうぞご理解ください。申込方法：次の4項目をお知らせください（必須）氏名、参加している市民連合、メールアドレス、電話番号、オプション（書かなくてもかまいません）、事前に伝えたいことがあればお書きください。以上を shiminrengo@gmail.com までお送りください。締切は7月19日（水）。申し込まれた方には、締切日以降 ZOOMURL をお送りします。拡大運営委員 長尾詩子、菱山南帆子 市民連合事務局 竹内、菊地 連絡先 TEL 03-5289-8222（平和フォーラム）、090-4437-2175（菊地）

☆7月22日（土）13:30～15:30 **高田健さん講演会「新たな戦前にさせない！」** 会場・海老名文化会館1階120サロン（小田急線海老名駅徒歩5分）資料代500円 講師：高田健さん（総がかり行動実行委員会） 主催：かながわ16区3市（厚木市・伊勢原市・海老名市）市民の会・準備会 問合せ：080-1172-1094（山本さん）

☆7月22日（土）18:30～20:00 **衆議院議員・早稲田ゆき国政報告会 特別講演：有田芳生さん「テレビでは聞けない旧統一協会と政治問題」** 会場：鎌倉生涯学習センターホール（定員200名、鎌倉駅東口徒歩3分）会費500円 申込み・問合せ：早稲田ゆき事務所（TEL. 0467-24-0573、FAX. 0467-24-0575）

☆7月23日（日）13:30～ **日本共産党神奈川県後援会総会・決起集会** 会場：横浜市従会館ホール（桜木町駅徒歩12分）国政候補の決意・挨拶：はたの君枝・さいとう和子（衆院比例代表候補）文化行事：桂歌助（真打） 問合せ：045-324-6030

☆7月23日（日）14:00～16:00 **ゲノム問題検討会議Zoomセミナー ゲノム編集技術の新たな展開とヒト化動物** 講師：真下知士さん（東京大学医科学研究所実験動物研究施設先進動物ゲノム研究分野）、天笠啓祐さん（市民バイオテクノロジー情報室代表）、河田昌東さん（遺伝子組換え情報室代表）司会島園進さん（大正大学客員教授、東京大学名誉教授） 事前申込み：参加希望者は事前に下記メールあてに必要な事項明記の上、7月21日までに申込みください。必要事項：名前、職業、メールアドレス 申込み先：E-mail jreikochan@yahoo.co.jp またはこちらから → <https://forms.gle/ZpM761NCcK1gmSSR>

☆7月25日（火）12:00～ **7.25 女性の権利デー 神奈川アクション 人権侵害・性暴力・あらゆるハラスメントのない社会へ** 雨天決行 集合：12時に JR 桜木町駅前広場に集合 行動：トーク・アピールほか 県庁までデモ行進（桜木町駅前12時10分出発） 県庁到着12時40分 県庁を囲んで（人間の鎖の輪）アピールほか 県庁に直接集合も可 呼びかけ：黒岩県知事の人権侵害を無かったことにできない女性たちの会 連絡先：kjnw2023@gmail.com

☆7月26日（水）13:20～ **第6回津久井やまゆり園事件 犠牲者を偲ぶ会** 会場：千木良公民館（JR相模湖駅からバス、学校前下車徒歩5分） 永井清光（津久井やまゆり園長） 追悼舞踊 主催：共に生きる社会を考える会 問合せ：042-684-3514（太田さん）

☆7月26日（水）13:30～16:00 **第26回ピースフェスタ港南** 会場：ひまわりの郷（京急・地下鉄上大岡駅直結） 協力券：大人1000円、小中高生500円 講演：目加田説子（中央大学教授）「足元から考える平和」 ジャズ演奏、鍵盤ハーモニカ四重奏、童謡、唱歌 主催：実行委員会 問合せ：ユーコープ横浜南2エリア事務所（045-721-2526）、小島（080-2085-9997）

☆7月26日（水）13:30～16:30 **戦争を語り継ぐつどい 平和と気候正義を考え、行動する～若い世代とつながって** 会場：全国教育文化会館地下会議室 資料代500円 ドキュメンタリー映画「声をあげる高校生たち」のDVD上映と元高校教師の沖村民雄さんの話と、神奈川・横須賀の石炭火力発電所建設反対の運動をする大木直美さんのお話 主催：婦人民主クラブ 問合せ：03-3478-2317（婦人民主クラブ）

☆7月26日（水）18:30～20:00 **カジノを考える市民フォーラム「トークイベント（第13回講演会）：「ハマのドン」撮影に携わって** 会場：自治労横浜会館2F会議室（横浜市中区寿町4-15-5） 内容：映画監督 松原文枝氏「ハマのドン」撮影に携わって 参加募集：80名程度（先着順） 参加費500円 主催：カジノを考える市民フォーラム 申込み：カジノを考える市民フォーラム事務局まで、Fax又はemailで、人数、住所、電話、氏名をお知らせください。

☆7月27日（木）18:00～ **憲法改悪を許さない 総がかり行動 署名街頭宣伝** 場所：新宿駅 東南口 共催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会／9条改憲NO！全国市民アクション

☆7月28日（金）16:00～19:00 **『ヨコハマ市民自治を考える会』の定例会** 会場：かながわ県民センター705号室（横浜駅西口徒歩5分） 市民自治に関心のある方は是非お越し下さい。Eメール kura335200@star.ocn.ne.jp（倉田） 参加費300円

- ☆7月29日(土)～30日(日) ①11:00～、②15:30～ **舞台「モモ」** 会場：多摩市民館大ホール(小田急線向ヶ丘遊園駅徒歩5分) 一般3000円、高校生以下・障害者1000円、当日は500円増 主催：かわさき演劇まつり実行委員会 問合せ：044-511-4951(京浜協同劇団)
- ☆7月29日(土) 13:00～17:00 **横浜市教員採用試験に向けての学習会(2次試験対策)** 会場：桜木町ぴおシティ6階さくらリビングミーティングルーム(桜木町駅徒歩3分) 参加費500円 主催：子ども・教育・くらしを守る横浜教職員の会 問合せ：045-212-5753
- ☆7月29日(土) 13:00～16:30 **原水爆禁止2023年世界大会 科学者集会 リモート会議(zoom)方式での開催 核を含む大軍拡の嵐の中、大学・学生・高校生から平和の発信を** プログラム：開会の挨拶と進行の説明、講演1 直野章子(京都大学)：被爆体験と核兵器廃絶の間 講演2(基調報告) 赤井純治(元新潟大学)：核を含む大軍拡の嵐の中、大学・学生から平和の発信を：新潟大非核平和宣言から平和教育の実践/現代学生への向き合い方について問題提起、講演3(コメント) 師井勇一(明治大)：平和創造学の可能性ー人権と平和を探究する明治大学より、沖村民雄(元高校教員・高校生平和ゼミナール全国連絡センター)：高校生平和ゼミナールと主権者教育の課題、田原ちひろ(武蔵野大・学生) 学生平和ゼミナール：学生平和ゼミナールの活動を通して思うこと、高木安奈さん(慶応大・学生)：学生平和ゼミナール 平和についての対話で見える学生のリアルと、その閉塞感の突破口(?)、大野朱璃(新潟大・学生)：新潟大学の講義「平和を考える」をきっかけに私が抱いた平和への思い、高校生(沖縄高校生平和ゼミナール)：核兵器禁止条約の署名・批准を求める高校生署名に取り組んで、総合討論、集会アピール採択 科学者集会への参加は、次のURLにアクセスし、申込み下さい。https://forms.gle/XJt5Jh4tCdaZNWG59 後ほどzoomのURL等お知らせします。総合討論で各大学での、非核平和宣言の継承、平和教育の実践等、発言希望の方はあらかじめ、赤井宛、申込みをお願いします。下記メールアドレスへ ja8631lakai@gmail.com。発言のタイトル、氏名・所属、概要を数行で。メールのタイトルには23科学者集会、発言希望と書いてください。実行委員：赤井純治、井原聡、小林昭三、浜田盛久、森田龍義、山本富士夫
- ☆7月30日(日) 10:00～16:30 **第25回戦争と平和を考えるつどい** 会場：尊徳記念館視聴覚室(小田急線富永駅徒歩15分) 「エリザベス この世界に愛を」「ルーツのバトンを受け継いで」上映 講演会：羽場久美子(青山学院大学名誉教授)「ウクライナ戦争の停戦実現とアジアでの戦争回避への道」 資料代500円 主催：小田原革新懇 問合せ：090-6569-9601(柏木さん)
- ☆7月30日(日) 13:00～16:30 **2023年被爆78周年原水爆禁止世界大会・福島大会** 会場：パセルいいざか 基調講演、2分科会 主催：実行委員会 03-5289-8224
- ☆7月30日(日) 13:30～ **自衛官募集業務「名簿提出」を考える学習と交流のつどい** 会場：横浜市健康福祉センター8階会議室AB(桜木町駅徒歩2分) 記念講演：清水雅彦(日本体育大学教授)「憲法から考える自治体による自衛官募集協力問題」 資料代500円 主催：神奈川県平和委員会、神奈川県自治体問題研究所、新日本婦人の会神奈川県本部 問合せ：045-231-0103(県平和委員会)
- ☆7月30日(日) 13:30～16:30 **核兵器と戦争のない世界を 映画「長崎の郵便配達」上映と交流のつどい** 会場：全国教育文化会館・エデュカス東京7階(定員120名、地下鉄有楽町線麹町駅5番出口徒歩2分) 参加費：大人500円、学生・高校生以下は無料 プログラム：あいさつ、映画上映(97分)、被爆者・山田玲子さんのお話(小学校5年生の時に広島で被爆) 高校生・学生の発言、ほか 主催：東京高校生平和ゼミナール、東京学生平和ゼミナール、世界の子どもの平和像(東京)の会 問合せ：090-4819-2932(沖村)、090-2753-3791(津田)
- ☆7月31日(月) 18:00～ **憲法9条改憲NO!ウィメンズアクション** 女性以外の参加も大歓迎です。場所：JR有楽町駅イトシア前 主催：戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会 性差別撤廃 Project Team
- ☆8月1日(火)～8月5日(土) **第20回東アジア青少年歴史体験キャンプ** 杭州で感動交流を(募集：中学生・高校生20人(先着順)、参加費2万円) ガイダンスと学習会は5月14日に東京労働会館地下中会議室(JR山手線大塚駅徒歩6分、地下鉄丸の内線新大塚駅徒歩7分)で開催 主催：中国 中国社会科学文献出版社、中国社会科学近代史研究所、韓国 アジアの平和と歴史教育連帯、日本 第20回東アジア青少年歴史体験キャンプ実行委員会 申込み・問合せ：子どもと教科書全国ネット21(03-3265-7606)
- ☆8月4日(金) 9:00～ **夏休み「子どもたちと、みなと見学会」** 集合：9時に、ピア赤レンガのりばシーバス乗り場に集合(JR桜木町駅から「汽船道」を徒歩15分、「赤レンガ倉庫の大栈橋側です」 定員：先着40名 「横浜港振興協会」提供の「シーバス」を利用するので、乗船賃は無料 希望者は、中華街での食事も予定 申込み・問合せ：080-2260-0011(高橋靖明) 主催：日本共産党磯子区後援会(事務所 045-772-9785)
- ☆8月4日(金)～6日(日) **2023年被爆78周年原水爆禁止世界大会・広島大会** 会場：県立総合体育館、県民文化センターなど 非核平和行進、開会総会、6分科会、各ひろば、ワークショップ、国際シンポジウム 主催：実行委員会 03-5289-8224

- ☆8月5日（土）～13日（日）11:00～18:00（最終日は16時まで） **山内若菜記憶展 サルビアホール現代美術展2023** 会場：サルビアホール3階ギャラリー（鶴見駅東口徒歩3分） 主催：サルビアホール 問合せ：045-511-5711
- ☆8月5日（土）13:30～15:30 **2023年日本キリスト教団神奈川教区平和集会** 日本で生きる意味を問い続けて一亡命した音楽家からの声を聞きながら 会場：清水ヶ丘教会（京急線南太田駅徒歩3分） 演奏・語り：崔善愛（チェソソエ、ピアニスト） 曲目：ショパン「革命のエチュード」「別れの曲」「幻想即興曲」ほか 参加費500円 主催：日本キリスト教団神奈川教区社会委員会 問合せ：shak12sorada@gmail.com（委員長：斉藤圭美）、045-711-2990
- ☆8月6日（日）～9日（水）**KANAGAWA to NAGASAKI PEACE TOUR GOOD BYE 核兵器 いま、若い私たちにできること** 参加対象：神奈川県在住・在学の学生・高校生 スケジュール：6日、午前発・飛行機とバスで長崎へ 7日、原爆資料館見学、世界大会総会 8日、分科会（被爆者訪問、遺跡めぐりなど） 9日、閉会総会、飛行機で夜に神奈川着 引率者も同行 申込み・問合せ：原水爆禁止世界大会青年ツアー実行委員会（kanagawapeace@gmail.com）
- ☆8月6日（日）14:00～17:00 **憲法連続講～混迷する岸田政治を問う オンライン開催 第1回** ①「防衛力の抜本的強化と九州地方への影響」 報告者：青野篤さん（大分大学教授）、②「安全保障政策の大転換—安保3文書がもたらす世界」 報告者：高作正博さん（関西大学教授） Zoomアプリによる集会です（参加無料） 参加予定の方は、kenponet103@gmail.comまでご連絡ください。主催：憲法ネット103 <https://kenponet103.com>
- ☆8月7日（月）～9日（水）**2023年被爆78周年原水爆禁止世界大会・長崎大会** 会場：ブリックホール大ホール、ほか 開会行事、国際会議、4分科会、各ひろば、ワークショップ、閉会総会、非核平和行進、黙祷 主催：実行委員会 03-5289-8224
- ☆8月7日（月）～10日（木）**長崎平和学習旅行** 原水爆禁止世界大会（長崎）や全国高校生平和集会に参加し、原爆資料館や原爆遺跡を訪れます。問合せ：kokosuket@gmail.com（津田）
- ☆8月10日（木）14:00～ **日中平和友好条約締結45周年記念大集会一日中友好こそ、日本の最大の安全保障の一つだ** 会場：衆議院第一議員会館地下1階大会議室 事前申込みが必要 来賓挨拶：鳩山友紀夫、呉江浩 記念講演：浅井基文「日中平和友好条約締結45年バイデン・岸田対中対決政治は清算しなければならない」 開会からの発言：古賀茂、奥谷禮子、乗松聡子、泉川友樹、大野芳一 定員300名 申込先：murayamadanwa1995@ybb.ne.jp 主催：実行委員会 連絡先：090-9399-3941（松代）
- ☆8月12日（土）13:20～ **第42回横浜寿町フリーコンサート** 場所：寿町交流センター前広場（横浜市中区寿町4-14） 少雨決行 料金無料 カンパ歓迎 出演：13:30 ジュンマキ堂とニューパラダイスチンドン、14:20 蝦名字摩、15:30 TI' PUNCH(ティポンシュ)、16:30 T字路 s、17:30 TEIYU CONNECTIONS(ティユウ コネクションズ) 主催：寿町夏祭り2023 実行委員会
- ☆8月12日（土）13:30～ **記念講演会「関東大震災朝鮮人・中国人虐殺から100年 今考える歴史の事実と今日の課題」** 会場：かながわ県民センターホール（横浜駅西口徒歩5分） 資料代800円 講演：後藤周さん（研究者）「関東大震災における横浜の虐殺」、石橋学さん（神奈川新聞記者）「官民のヘイトに向き合って」 当日、会場にパネル「関東大震災100年・虐殺の痕跡」を展示します 問合せ：日本コリア協会神奈川県連（045-581-3697）、日中友好協会神奈川県連合会（045-663-0041） 主催：実行委員会
- ☆8月12日（土）13:30～18:30 **第18回平和の灯を！ ヤスクニの間へ キャンドル行動シンポジウム：東アジアを戦場にさせない！市民の戦争への駆り立てに抗する（仮）** 会場：全水道開館大会議室（JR水道橋駅東口徒歩3分） パネリスト：高橋哲哉さん（東京大学大学院教授）、与那覇恵子さん（沖縄・名桜大学名誉教授）、王智明さん（台湾・中央研究院歐美所副研究員）、韓国からのゲストは依頼中 遺族の訴え：韓国、日本、沖縄の遺族など 諸団体からのアピール コンサート 主催：実行委員会 問合せ：peacecandle2006@yahoo.co.jp、HP <http://peace-candle.net>
- ☆8月13日（日）12:30～14:30 **講演会 上郷深田遺跡の歴史的意義** 講師：高橋香さん（公財・かながわ考古財団調査研究部） 会場：サカエスタ大会議室（定員80名、本郷台駅徒歩3分） 資料代500円 予約優先、当日は先着順 主催：上郷深田製鉄遺跡の保存を求める会 問合せ：090-7405-4276（竹岡）、090-8486-4083（大田）
- ☆8月14日（月）～18日（金）8:45～17:00（初日は12時から、最終日は15時まで） **原爆パネル展** 会場：都筑区役所ロビー（地下鉄センター南駅徒歩6分） 平和のつどい：14日14時～、都筑公会堂リハーサル室 ドキュメンタリー映画「沖縄、再び戦場へ」上映 主催：新日本婦人の会都筑支部 問合せ：045-941-7218
- ☆8月14日（月）①10:30～12:30 ②14:00～16:00（開場30分前） **韓国映画「雪道」上映会** 上映の後、梁澄子（希望のたね基金代表理事）の15分のお話「日本軍慰安婦の現在（いま）」あり 内容：第二次大戦末期、「日本軍慰安婦」として過酷な運命を共に耐え抜いた二人の少女の友情 会場：鎌

- 倉芸術館小ホール（全席自由 600席）JR大船駅徒歩10分 料金：999円 前売り・当日同一料金 高校生以下は無料 主催：大船・九条の会 協賛：根岸線沿線九条の会連絡会（大船・栄区・港南台・洋光台・磯子・森）、腰越九条の会 連絡先：飯田0467-47-9720、平松090-5368-2271 マリーモンド（BTSやTWICEも！韓国アイドルが着用する慰安婦支援ブランド）の販売あり
- ☆8月18日（金）**命と平和を考える映画祭** 10:00～「原発をとめた裁判長」 14:00～「ペーパーシェイパー」「声を上げる高校生たち」 会場：逗子文化プラザなぎさホール（京急逗子・葉山駅徒歩2分）前売り1000円、当日1200円、高校生以下500円 主催：逗子・葉山九条の会 問合せ：046-878-6044（富塚さん）
- ☆8月19日（土）9:30～17:00 **第57回神奈川夏の教育研究大会** 会場：湘南学園小学校（小田急線鵠沼海岸駅徒歩8分）教職員1500円、一般・学生500円 記念講演：上西充子（法政大学教授）「私たちはどんな社会に生きたいのか」 つどい 分科会など 主催：県民間教育団体協議会 問合せ：090-6037-7775（持田さん）
- ☆8月25日（金）13:00～ **福島原発かながわ訴訟第1陣 事前集会**：13時～13時30分 東京高裁前 原告団・弁護団の入廷行進を歌と音楽で力づけます。13時40分～ 傍聴抽選整理券交付締切 14時～第20回口頭弁論 東京高裁101号法廷 原告及び被告双方の最終意見陳述が行われると17時頃までかかります。報告集会 裁判終了後 会場：日比谷コンベンションホール（日比谷図書館B1）呼びかけ：福島原発かながわ訴訟を支援する会（070-1316-4575）
- ☆8月22日（火）15:00～16:00 **JSA 神奈川支部幹事会・発送作業** 会場：横浜市中区不老町1-6-9 第1HBビル5階B かながわ総研の新事務所（1階に「牡丹飯店」という中華料理屋のある第1HBビルの5階です。関内駅南口から徒歩3分）。連絡先：飯岡ひろし（携帯：090-1557-9941）
- ☆8月26日（土）～9月3日（日）10:00～19:00 **第8回知ること未来が見える戦争の加害パネル展 特集展示：関東大震災時朝鮮人虐殺** 会場：かながわ県民センター1階展示室（横浜駅西口徒歩5分）参加無料 主催：記憶の継承を進める神奈川の会（090-7405-4276、hiromatu914@yahoo.co.jp）
- ☆8月26日（土）17:30～19:30 **第8回知ること未来が見える戦争の加害パネル展 会期中企画 榎蒼宇さん（法政大学教授）講演会「関東大震災100年－朝鮮人虐殺と官民の植民地戦争経験」** 会場：かながわ県民センター2階ホール（横浜駅西口徒歩5分）資料代500円 主催：記憶の継承を進める神奈川の会（090-7405-4276、hiromatu914@yahoo.co.jp）
- ☆8月27日（日）10:00～12:30分 **第64回神奈川地学ハイキング・神奈川野尻湖友の会合同行事：横浜市三殿台考古館・遺跡の見学** 集合：横浜市営地下鉄蒔田南口駅に10時集合 交通：蒔田駅南口から徒歩約20分 内容：横浜市三殿台遺跡と考古館（縄文時代から弥生時代、古墳時代までの住居跡とその復元、遺物）の見学 持ち物：筆記用具、交通費、水分、昼食など 案内：ボランティアガイドの方 参加費：200円（保険料を含む、入場料は無料） 主催：神奈川野尻湖友の会、神奈川地学ハイキング 参加申込み先：電話 090-7175-1911、E-mail: goto@kd5.so-net.ne.jp 後藤仁敏
- ☆8月29日（火）14:00～ **安保法制違憲かながわ訴訟第3回控訴審** 場所：東京高裁101号法廷 連絡先：安保法制違憲訴訟かながわの会
- ☆8月31日（木）18:30～ **関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年 犠牲者追悼大会** 会場：文京シビックセンター大ホール（地下鉄後楽園駅すぐ） 主催：関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年犠牲者追悼大会実行委員会 連絡先：080-1142-2515（関東大震災中国人受難者を追悼する会）
- ☆9月2日（土）10:00～11:30 **朝鮮人虐殺100年 神奈川追悼会** 場所：久保山墓地（管理事務所左手奥）関東大震災殉難朝鮮人慰霊之碑前（京急黄金町駅前より横浜市営バス32系統「保土ヶ谷車庫行」久保山霊堂前下車、保土ヶ谷方面に徒歩5分） 主催：関東大震災朝鮮人虐殺の事実を知り追悼する神奈川実行委員会 連絡先：housenka.kanagawa@gmail.com
- ☆9月2日（土）13:00～16:40 **神奈川革新懇夏の活動交流会** 会場：川崎総合自治会館 参加費500円全体会議 活動報告：田中光雄（代表世話人）、情勢報告：田母神悟（代表世話人、日本共産党県委員長）、しょめい隊、世代継承、民青などの発言 8つの分散会 連絡先：080-5831-8179（斉田）
- ☆9月2日（土）19:00～ **関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年 国会キャンドル集会** 場所：国会正門前 主催：関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年犠牲者追悼大会実行委員会 連絡先：080-1142-2515（関東大震災中国人受難者を追悼する会）
- ☆9月3日（日）14:30～16:00 **横浜の関東大震災一流言・虐殺の事実を知り、考える** 会場：神奈川県地域労働文化会館2階AB会議室（地下鉄阪東橋駅徒歩2分、京急黄金町駅徒歩5分）資料代500円 講師：後藤周さん（関東大震災における朝鮮人・中国人虐殺の研究者） 主催：かながわ歴史教育を考える市民の会 後援：神奈川人権センター、神奈川平和運動センター 連絡先：090-8818-1431（高梨）
- ☆9月3日（日）17:30～ **関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年 国際交流シンポジウム** 会場：在日大韓基督教会川崎教会 テーマ：関東大震災におけるレイシズムとジェノサイドー国家の責任を問い、

歴史を世界の人々と共有する為に 報告者：朝鮮半島・中国・日本の研究者、弁護士、市民活動家 主催：関東大震災朝鮮人・中国人虐殺 100 年犠牲者追悼大会実行委員会 連絡先：080-1142-2515（関東大震災中国人受難者を追悼する会）

☆9月9日(土)13:30～16:00 (13:00 開場) **平和をねがう講演と音楽のつどい 「呪いのことばの解きかた～主権者であることを手放さずに歴史の転換点に向き合う」** 会場：茅ヶ崎市民文化会館小ホール（茅ヶ崎駅北口徒歩 10 分） 講演：上西充子さん（法政大学キャリアデザイン学部教授） 音楽：小室等さん（フォークシンガー、作曲家） チケット：前売り 500 円 当日 700 円 大学生以下無料 申込・連絡：090-6489-3739（林）、0467-85-7182（宮澤） 主催：九条の会・ちがさき

☆9月10日(日)14:00～17:00 **憲法連続講～混迷する岸田政治を問う オンライン開催 第2回 ③「出入国管理に対する憲法的統制の実現に向けて～2023年入管法改定を中心に」** 報告者：高佐智美さん（青山学院大学教授）、④「マイナンバーはなぜ問題か?世界の動きにも触れて」 報告者：田島泰彦さん（元上智大学教授） Zoomアプリによる集会（参加無料） 参加予定の方は、kenponet103@gmail.comまで連絡ください。主催：憲法ネット103 <https://kenponet103.com>

☆9月14日(木)17:00～18:00 **第2回栄区総がかり行動宣伝行動** 場所：本郷台駅前広場 主催：大軍拡・大增税ストップ栄区アクション（事務局 090-1258-4710、筒井）

☆9月14日(木)18:00～21:00 **福島原発事故と UNSCEAR 報告：過小評価される放射線被曝（黒川眞一さん：新ちよぼゼミ）** 講師：黒川眞一さん 大学共同利用機関法人（高エネルギー加速器研究機構名誉教授） 会場：スペースたんぼぼ 参加費（資料代含む）800 円（学生 400 円） 高橋セーフビルの1階 JR 水道橋駅西口から 5 分 予約の受付窓口：たんぼぼ舎（水道橋）TEL 03-3238-9035（上記に電話していただき「受付番号」をもらってください）

☆9月17日(日)14:00～ **秋の学習会 基地のそばで暮らすということ** 会場：かながわ県民センター304（横浜駅西口徒歩 5 分） 資料代 500 円 講演Ⅰ 明有希子さん（沖縄県宜野湾市出身）「基地のそばで暮らすということ」、講演Ⅱ 星野潔さん（リムピース編集部）横浜ノースドックという基地 主催：平和憲法を守り、行動する神奈川女性の会 連絡先：045-662-8148

☆9月18日(月・祝)11:00～16:00 **ワタシのミライ NO NUKES & NO FOSSIL 再エネ100%と公正な社会を目指して** 場所：代々木講演B地区・野外ステージ・けやき並木 主催：ワタシのミライ、Fridays For Future Tokyo、さようなら原発1000万人アクション

☆9月23日(土)13:00～17:00 **第18回シンポジウム 歴史教科書・いままでとこれから 新科目「歴史総合」「日本史探求」「世界史探求」と歴史教育の課題** 会場参加とオンライン参加 会場：早稲田大学早稲田キャンパス7号館307教室（東西線早稲田駅徒歩5分） 資料代：一般1000円、学生・院生500円 石上徳千代さん（歴史教育者協議会）：小学6年の社会科教科書と歴史学習、小川輝光さん（歴史学研究会）：「歴史総合」の教科書と授業実践、小沢弘明さん（千葉大学）：「世界史探求」における同時代史記述について、依頼中：大学における教員養成の問題 主催：歴史学研究会。歴史科学協議会、東京歴史科学研究会、日本史研究会、地方史研究協議会、歴史教育者協議会、東京都歴史教育者協議会、子どもと教科書全国ネット 問合せ：090-8100-1038（歴史教育者協議会、竹下） オンライン参加申込み：9月17日までに、オンライン参加希望と明記して、名前、所属、電話番号、メールアドレスをお知らせください。宛先：akadake2020@gmail.com 参加費の送金先を知らせますので、送金ください（手数料は負担してください）。送金確認後、9月21日までにメールでzoomの案内を送ります。定員100名。会場参加：事前申込みを、090-8100-1038またはakadake2020@gmail.comまでお願いします。定員になり次第受付を終了します。

☆10月15日(日)13:30～ **トーク・シンク・アクション I 女性会議神奈川県本部 60 周年記念講演会** 講演：軍事化とジェンダー～軍事化は平等・多様性を止める 講師：杉浦ひとみさん（弁護士） 会場：かながわ県民センター2階ホール（横浜駅西口徒歩 5 分） 参加費無料 主催：I 女性会議神奈川県本部 連絡先：045-662-8148

☆10月15日(日)14:00～17:00 **憲法連続講～混迷する岸田政治を問う オンライン開催 第3回 ⑤「グリーントランスフォーメーションと原子力発電」** 報告者：藤野美都子さん（福島県立医科大学特任教授）、⑥「税と財政の平和主義」 報告者：永山茂樹さん（東海大学教授） Zoomアプリによる集会です（参加無料） 参加予定の方は、kenponet103@gmail.comまでご連絡ください。主催：憲法ネット103 <https://kenponet103.com>

☆10月21日(土)13:30～（受付 13:00～） **第4回山中市政を進める市民の集い** 会場：市従会館4階ホール（桜木町駅徒歩13分） 資料代 500 円 趣旨 統一地方選挙後の岸田内閣と地方自治体の役割や山中市政の状況などについて学習し、今後の活動に生かす集いとする。内容：①講演「岸田内閣と地方自治について」講師 岡田知弘（京都橘大学教授）、②市議会各党派や山中市政などの報告、③山中市政のこれまでの報告など 主催：市民の市長をつくる会 問合せ：045-650-1896

JSA 神奈川支部幹事会と発送作業：日時：8月22日（火）15:00～16:00 会場：横浜市中区不老町1-6-9 第1HBビル5階B かながわ総研の新事務所（1階に「牡丹飯店」という中華料理屋のある第1HBビルの5階です。関内駅南口から徒歩3分）。

連絡先：飯岡ひろし（携帯：090-1557-9941、E-mail：iioka408(at)gmail.com）

次号の原稿の募集：近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月10日ごろの締め切り、15日ごろの発送です。

送り先：後藤仁敏（E-mail：goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax：045-894-1052）